

(様式3)

令和5年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	障害児放課後等支援施設 フレンズ	所在地	伊勢市御園町長屋2767
指定管理者名	認定NPO法人ときわ会 藍ちゃんの家	指定期間	令和5年4月1日から令和8年3月31日まで
設置目的	障がい児または障がい者の日中活動の場の提供		
業務内容	【伊勢市障害児放課後等支援施設フレンズの管理業務を行う】 ・伊勢市内に住所を有し、小中学校、高等学校または特別支援学校に在学する障がい児、または障がい者に対し、日中活動の場を提供するとともに、家族等の介護負担の軽減を図る。 ・日中活動の場を提供するなかで、他の障がい児、障がい者、支援員等と交流することで、障がい児の健全育成に資するよう努める。		
施設概要	ハートプラザみその1階 (療育室、静養室、便所 延床面積:112.5㎡)		
職員体制	管理者1名、支援員15名、運転手2名		
施設所管課名	高齢・障がい福祉課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	比較(C-B)	
事業収支	収入	指定管理料	5,603,000	6,223,400	6,244,000	20,600
		利用料金	8,295,250	8,792,800	8,503,010	△ 289,790
		その他	184,247	445,548	10,803	△ 434,745
		計(a)	14,082,497	15,461,748	14,757,813	△ 703,935
	支出	人件費	10,635,840	9,999,462	12,758,380	2,758,918
		管理運営費	2,077,191	1,839,124	2,083,553	244,429
		その他	542,179	731,874	761,560	29,686
		計(b)	13,255,210	12,570,460	15,603,493	3,033,033
収支差引額(a)-(b)		827,287	2,891,288	△ 845,680	△ 3,736,968	

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	・事業所安定運営支援金の対象外となったこと等により収入は減ったが、支出は、原油価格、物価高騰により管理運営費や、利用児に合わせた十分な支援のための支援員増加による人件費が大幅に増加した。
----------------------------------	---

3 評価(様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
事業計画書に沿った、管理業務を行った。 新型コロナウイルスが5月に感染法上、5類に移行したが、職員に定期的な抗原定性検査を行い、原則マスクを着用しての支援、常時換気やアルコール消毒など感染予防に努めた。 日常の支援においては、利用児一人一人のスキルに合わせて、スローステップの成長を意識し、日常の中で出来ることを増やせるよう個別活動の充実を図った。また、季節を感じられる年間行事を催し、興味関心の幅を広げ、利用児同士の関わりをもてる機会とした。家族参加型のクリスマス会では、コロナ禍での人数制限を撤廃し、兄弟姉妹も参加していただいたことで、家族で楽しんでもらえる機会となった。 室内設備の見直しを行い、静養スペースの増設、開き戸を引戸に変更など、利用児がより安全安心して過ごせるように環境を整えた。	施設の設置目的を理解し、管理運営については適正に行われていた。 静養室の増設など、利用者の安全性の向上や過ごしやすい環境を整える取り組みを実施したことは評価できる。 また、新型コロナウイルスが5類に移行した後も、引き続き感染症対策を十分に行いながら、行事や個別活動の充実を図ったことも評価できる。 今後も、関係機関とも連携を密にしながら、利用者や家族のニーズに則した事業を実施するとともに、利用者が安心・安全に利用できる施設運営を実施していただきたい。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		施設名 障害児放課後等支援施設 フレンズ			
		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を十分理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針を理解し、管理運営に努めた。
	②施設設置目的の達成度	A	管理運営を通して、障がい児または障がい者へ日中活動の場を提供し、健全育成に資することができた。	A	施設の利用状況、管理状況から、施設の設置目的は達成されている。
	③利用者数	A	登録人数は減ったものの、一日当たりの利用人数は増えており、目標を達成できた。	A	一日あたりの利用人数は増えていることから、施設の利用目標は達成できている。
	④運営状況	A	事業計画書とおりの供用日数・時間を達成し、適切な施設運営を行った。	A	事業計画書に計画された運営が行われ、適正な施設運営が実施された。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	作業責任者・業務担当者を設定し、適正な配置・勤務が取れた。	A	職員の配置状況、勤務実績は適正であった。
	⑥意思疎通	A	漏れなく業務報告し、また、市の担当者と適宜打ち合わせを行い、連絡調整を密に行った。	A	運営業務全般において、伊勢市と協議しながら業務を遂行された。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	計画書や点検、管理記録の書類を作成し、適切に整備、保管を行った。	A	各種の記録については、適正に整備保管されており、月報・年報にて報告されている。
	⑧地域の振興	B	保護者参加型行事を催したが、地域の振興までには至らなかった。	B	地域振興には至らなかったが、保護者参加型行事の行事により交流が図られていた。
	⑨使用許可等		-		-
	⑩利用料金等の徴収状況	A	各種帳簿は適正に作成を行い、処理した。	A	帳簿は漏れなく適正に作成・処理されていた。
	⑪個人情報	A	個人情報の取扱については十分注意し、適切に行った。	A	個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、個人情報は適切に取り扱われていた。
	⑫法令遵守	A	各種法令を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられない。

指定管理業務の項目別評価表

		施設名		障害児放課後等支援施設 フレンズ		
評価項目			評価			
			指定管理者		市	
業務運営項目		評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	利用者数の増加や利便性を高めるための具体的な取り組みが行なわれていたか。	A	ホームページで事業所の紹介をするとともに、相談事業所へのパンフレット配布により、事業所の周知を図り、新規利用者の獲得につなげた。	A	登録者数の増加はなかったが、事業所の周知や新規利用者の獲得への取り組みに努めていた。
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行なったか。	A	ミーティングや情報共有ノートの活用により、全職員が支援における留意点を的確に把握するよう努めた。また、研修を実施し、職員のレベルアップを図った。	A	期待されるサービス水準を達成していた。
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行なったか。	A	適宜、各利用者に文書にて情報の提供、必要に応じ、口頭で説明し、適切な情報提供を行った。	A	適正な利用情報の提供が実施されていた。
	④非常時・緊急時の対応	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	緊急時のマニュアルを整備し、利用者も含めた避難訓練を行った。また、保護者向けに災害伝言ダイヤルの体験も実施した。	A	緊急時マニュアルの整備、利用者も含めた避難訓練の実施など、適切に実施されていた
	⑤苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	利用者や保護者の意見・苦情に迅速に対応し、職員間で情報共有した。	A	利用者からの意見、苦情等を受け、迅速かつ適切に対応できる体制が整っていた。
	⑥自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	利用者それぞれに合わせた支援を行うために、様々なプログラムの提示・提供を行った。	A	利用者ニーズに則したプログラムが提供されていた。
	⑦事業の評価	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	月次、年次業務報告書を適切に作成、それらを元に次年度への課題を掲げ、次年度の事業へつなげた。	A	次年度に向けての見直し等を行い、次年度につなげるよう努めていた。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備・植栽等が適切に管理され、安全性の確保、良好な機能及び美観の保持がされていたか。	A	定期的に施設の安全点検を行い記録し、事故に繋がらないよう、危険箇所の排除に努めた。また、より安全安心して過ごせるよう、静養スペースの増設等の改修を行い、過ごしやすい環境づくりに努めた。	A	安全点検等を適切に行い、適宜報告されていた。また、利用者がより過ごしやすい環境を整えるため、静養スペース等の増設・改修を行った。
	②備品等の管理	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	備品について丁寧に扱い、経年劣化による破損以外は、破損や紛失等はなかった。	A	故意・過失による破損や紛失がなく、適正管理が認められる。
	③修繕業務	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	異常があった場合は、市やハートプラザみそのに報告し、速やかに適切な処置を行い、記録した。	A	伊勢市への報告等、適切な処置を講じるとともに、記録にも残っている。
	④清掃業務	清掃は適切に行なわれていたか。	A	日々の清掃、週末の清掃、大掃除など事前に立てた予定どおり清掃を行った。	A	清掃は適切に行われていた。
	⑤防犯体制	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	個人情報に関する書類は施錠できる保管庫で管理し、退勤時には戸締りを確実にし、防犯に関する問題はなかった。	A	個人情報に関する書類は施錠できる保管庫で管理されており、また、鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切に行われていた。